

第1章 九州圏における現状と課題

第1節 九州圏の国土構造の位置づけと特徴

東アジアに近い九州圏

九州圏の産業集積

- 地方中核・中核都市 (人口が概ね10万人以上の都市)
- 地方中核・中核都市 (人口が概ね30万人以上の都市)
- 自動車エンジン工場
- 自動車エンジン工場
- 自動車部品生産工場
- 半導体工場
- 知的クラスター
- 食料産業クラスター
- エコタウン事業の展開

第2節 九州圏を巻きこみ経済社会情勢の転換

九州圏の職種別就業年齢構成比の比較(全産業平均)

九州圏の産業構造

第3節 九州圏をめぐる様々な課題

東アジア等の経済発展に連動した国際競争力の強化

- 生産性向上、高付加価値化を一層推進するための産業立地環境の形成
- 新産業等の創出する技術研究開発、国際交流等に取り組む環境の形成

人口減少下における地域の自立競争力と九州圏の活力の強化

- 農村水産資源、自然資源、文化資源、観光資源などの地域資源の発掘、再評価による産業の振興や新産業の創出

産業振興を支える交流・連携の推進

- 文化・教育・研究、共通課題等にかかわる多様な国際交流、協力の推進
- ゲートウェイ機能の充実に向けた国際交流、物流拠点の整備
- ICTを活用した情報発信機能の強化

第2章 九州圏の課題への対応の方向性

論点整理

論点1 産業集積を活かした新たな産業展望
・牽引産業である自動車産業・半導体産業等の集積を核とした国際競争力の強化やビジネス環境の整備により、産業振興を図る。

論点2 新産業を核とした産業振興
・東アジアにおける共通課題克服に貢献・協力可能な産業分野の推進を図りながら、次世代を担う新たな産業群を育成する。

論点3 ものづくり基盤の強化
・ものづくりを支える技術・技能の低下を防止、ものづくり産業における製品の付加価値や企業競争力を高める。

論点4 観光資源等による魅力創出
・地域と地域、人と人など多層的な交流の拡大により、豊かな自然と都市の魅力を生かした国際観光振興を図る。

論点5 東アジアの玄関口としての社会基盤の整備
・東アジアとの近接性を生かし、ゲートウェイとしての機能を高め、シームレスな国際旅客・物流機能を確保する。

論点6 持続的な成長を牽引する都市圏の形成
・拠点性の高い都市圏が、それぞれの長を生かして、経済、文化、学術・研究、国際交流等の拠点を形成し、九州圏を牽引していく。

論点7 多種多様な人材が集積する産業構造の形成
・若年層を中心とした人材の流出に歯止めをかけ、国際化や社会的サービスに対応した多種多様な人材が活躍できる環境を形成する。

論点8 農村水産産業等の地域を支える産業の振興と安定的発展
・それぞれの地域が社会情勢の変化を柔軟に受け止め、地域特性を生かした産業の振興や創出を図り、活力向上の好循環を生み出す。

第1節 九州圏の特長を生かした産業振興と競争力の強化

(1) 産業集積を活かした新たな産業展望

- ・ 絶え間ないイノベーションの促進や産業連関の拡大による集積産業の継続的発展
- ・ 関連産業の連関促進による裾野拡大や、圏内企業への参加による新たな価値の創造
- ・ 物流基盤の整備による企業立地の促進

(2) 新産業を核とした産業振興

- ・ 東アジアにおける環境循環圏の形成とその先進拠点としての国際競争力強化
- ・ 優れた技術の蓄積や研究開発機能の強化による次世代産業の育成
- ・ 教育・研究開発施設を核とした産学官連携や企業間連携の促進による新技術・新産業の創出

(3) ものづくり基盤の強化

- ・ 企業と大学・公的研究機関との連携による技術の高度化、製品等の高付加価値化の促進
- ・ 研修等による技能修得、恒例技術者の雇用延長等による若年技術者の育成、高度技術・技能の継承

(4) 地域を支える産業の振興と安定的発展

- ・ 地域ブランド化等による地域資源を活かした産業振興
- ・ 戦略的な観光振興による九州観光のブランド力強化
- ・ 少子高齢化の進行に対応した社会的サービス産業の展開
- ・ 産業、教育の連携による地域産業を担う人材の育成・確保

第2節 九州圏の産業振興を支える環境の構築

(1) 持続的な成長を牽引する都市圏の形成

- ・ 人材交流や企業活動の活性化、物資・資金・情報等を惹きつける国際・交流拠点としての都市圏の強化
- ・ 知識財産、感性産業の育成による魅力ある就業機会の創出
- ・ 教育・文化・情報等と知の人材の集積の融合による多様な産業の創出

(2) 多種多様な人材が集積する産業構造の形成

- ・ 国際ビジネスを担う高度な人材育成と留学生等の活用
- ・ 再就職を希望する若者や中高年等への就業支援など多様な人材の雇用の促進

(3) 産業振興を支える交流・連携機能の充実・強化

- ・ 多地域・多経路・多頻度でシームレスな交流・連携を実現する国際交流ネットワークの形成
- ・ 複合・環輸送による物流の効率化と手続きの迅速化等による物流の合理化
- ・ 情報通信基盤の整備による情報ネットワークの形成

第3章 活力ある経済社会の実現に向けて

1. 成長型、牽引型産業を核とした「産業アイランド」の推進等による競争力の強化

カーアイランド

自動車産業の集積と内発的産業化

研究・教育機能を併設する高度なものづくり拠点(デザイン工場)化を促進するためのインフラ等立地環境の整備

地域企業の参入を促進するための既存技術の自動車産業への応用や開発研究等にかかわる

シリコンアイランド

半導体産業の集積と国際競争力の強化

付加価値の高い設計・開発拠点の構築

新たな技術革新等を生み出す知的・産業クラスターの形成

新需要の創出や新分野への展開を図るための他分野にわたる関連産業との連携の促進

フードアイランド

食料基地としての発展と豊かな食文化の形成

特産品による地域ブランドの推進

バイオテクノロジーの活用等による産品・商品の高付加価値化

消費者に信頼される安全・安心な農林水産物の提供

事業の多角化等による農工商連携の促進

食料産業クラスターの形成

2. 学術研究都市等の知的集積を核とした産学官連携等による産業の高度化の推進

・ 学術研究都市や大学・研究・技術開発拠点を核とした産学官連携等により、絶え間ないイノベーションを促進することで、新産業の創出、技術の高度化、製品等の高付加価値化を推進する。

知的ネットワークの形成

産学官連携拠点の知的交流・融合による新たな科学技術の創出や指導者養成等を推進。

イノベーションの創出

企業、大学、研究機関、企業間の連携によるイノベーションの創出

共同研究体制の構築(リンクシステム)

各地域に存在する大学等の特殊なニーズや知識を活用し、地域における産学官の強固な結びつきを構築。

3. 社会情勢の変化等に対応した地域を支える産業の新たな展開

・ 人口減少、高齢化の進行、公共投資の減少といった社会情勢の変化に柔軟に対応しつつ、豊かな地域資源や歴史文化等を最大限に活用し、地域を支える産業の新たな展開を図る。

効率的な農林業経営

法人経営

農商工の連携

集落営農

高付加価値化

建設業の経営基盤強化

高付加価値化

コミュニティビジネス

他分野への進出・転換等

NPO等が担う新しい産業振興支援

4. 九州圏の未来を切り開く人材育成と多様な活躍の場の創出

・ 国際化や医療・福祉等の新たなニーズに対応した、次世代を切り開くための多様な人材育成と裾野の広い活躍の場を創出する環境を形成する。

次世代を担う創造的で多様な人材の育成

グローバル人材の育成

少子高齢化に対応した人材の育成・確保

教育機関の強化

人材の育成・確保

多様な人材が九州圏で定着する活躍の場の創出

多様な人材の育成

労働力の強化

人材の育成・確保

人的ネットワーク

雇用機会の創出

5. 多様な交流・連携を推進するソフト・ハード基盤の整備・活用

・ 東アジア、国内・圏内における交流・連携を推進するための循環型高速交通体系、高速情報通信基盤、スピーディかつシームレスな物流ネットワークの充実を図る。

交通物流拠点

物流拠点

情報通信

情報通信ネットワークの形成

ネットワークの形成

交通基盤

情報通信基盤

情報通信ネットワークの形成

ネットワークの形成

5. 多様な交流・連携を推進するソフト・ハード基盤の整備・活用

・ 東アジア、国内・圏内における交流・連携を推進するための循環型高速交通体系、高速情報通信基盤、スピーディかつシームレスな物流ネットワークの充実を図る。

交通物流拠点

物流拠点

情報通信

情報通信ネットワークの形成

ネットワークの形成

交通基盤

情報通信基盤

情報通信ネットワークの形成

ネットワークの形成